

## 研修報告書No. 2

研修先 檮原町立国民健康保険檮原病院  
聖マリアンナ医科大学研修医

高知での地域医療研修を終えて

私は高知医療再生機構を通じて4月から5月の1ヶ月間国保檮原病院で研修を行いました。普段大学を中心に研修をしている私にとって大学にはない多くのことを経験することができました。

檮原病院のある檮原町は高知の西部に位置し、高知市街からは電車とバスで約3時間の場所にあります。人口は約4000人で、坂本龍馬の脱藩際に通過した場所としても有名です。檮原病院は一時期無医村の時代もあったとことですが自治医大の派遣もあり現在は入院施設を有する地域の中核病院です。

県外出身である私にとって高知の地域医療はやはり山間部との関係だと思えます。高知の大部分は山であり、急性心筋梗塞や脳梗塞など緊急に治療を要する疾患が山間部で起きた場合高知市街に搬送をしなければなりません。高知県はドクターヘリを運用しているため日中は重症患者をヘリ搬送することができます。夜間帯や天候不良の場合は救急車で陸路を使って搬送しなければなりません。私自身も檮原病院から高知市街の3次病院に患者さんを搬送する機会がありました。山間部の道路はカーブの連続で乗っている患者さんにとっては居心地の良い状況ではありませんでした。檮原病院は町民が重症な疾患にできるだけならないよう予防医療を積極的に取り組んでいました。具体的には検診です。病院に併設している地域包括支援センターの保健師を中心に一人一人の世帯を訪問し、町が主体とする検診を受けるよう呼びかけていました。検診で異常が見つかった人は檮原病院で追加検査をするなど病気にならないよう行政と病院が一丸となって取り組んでいます。また、町民の健康に対する意識も高く「一緒に検診に行こう」と言い合う風土が檮原町にはありました。町の中で合ったら必ず挨拶をし合うなど面と向かったコミュニケーションができる環境だから成立することだと思えます。

大学などの大きな病院で医療を行っているそれぞれの病気の治療がメインになってしまい、患者さんの生活背景や家族構成などは置き去りになってしまうことが多くあります。研修中に入院加療し血糖コントロールが必要な糖尿病の患者さんが外来にいました。入院を勧めるものちょうど田植えの季節と重なり無理との返事でした。このような場合は定期外来と同時に保健師が中心となり月に何度か自宅訪問をし、食事指導などを行うそうです。病状の進行をできるだけ抑え、農業が落ち着いた時期に糖尿病教育入院をするそうです。このような経験を通して地域医療はまず患者本人の生活環境をイメージし、本人及び家族が希望する医療と病院が提供できる医療の「ちょうど良い終着点」を見つけることだと考えます。5月から大学の研修が始まりました。檮原にいたときよりは時間の流れが早く感じられるようになりました。日々の業務に埋没してしまうことが多くなると思えます

が患者さんの生活環境をイメージする想像力は忘れないようにしたいです。

最後に右も左もわからない私に親切丁寧に教えて下さった栲原病院の職員の方々、いつも優しく接して頂いた栲原町の町民の方々、私の多くのリクエストを親身になって聞いて下さりアドバイス頂いた高知医療再生機構の方がいて私は高知で地域医療研修ができたと思います。貴重な経験をさせて頂き本人にありがとうございました。